

## 授業科目

## 小児科学

担当教員名 和田 有子	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期（隔週実施）	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

## 授業の概要

子どもの最大の特徴は成長するということである。お腹の中でも出生後も、発育と発達を続け、今日ではできなくとも明日はできるかもしれないという可能性を持つ。小児のリハビリテーションはそのような成長の途中で、日常生活、社会生活の中に生じる「不便」に対して、何らかの工夫をすることで「生活の質の向上」と図るものである。

## 授業の目的

母子保健、教育に至るまで、多様な角度からの見方ができなければならない。小児科学では、この考えに従って、総合的な子どもに対する知識を習得し、小児のリハビリテーションに活用できる能力を養い、学び続ける姿勢を身につけることを目的とする。

## 学習目標

- 1 小児の発育・発達、生理、栄養、しくみ等を理解する。
- 2 小児の成長・発達を評価できる。
- 3 小児の異常や疾患を簡潔に説明できる。
- 4 小児特有の問題点を理解し、解決方法を提示できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	講義の初めに 発育発達1		和田 有子
2	発育発達2・発育評価	2回目以降、必要に応じて確認テストを行うことがある	和田 有子
3	胎児・新生児・周産期、乳幼児		和田 有子
4	奇形、感覚器疾患		和田 有子
5	発達障害、重症心身障害、療育の問題		和田 有子
6	神経疾患、循環器疾患、呼吸器疾患		和田 有子
7	感染症、小児の栄養、消化器疾患、内分泌・代謝疾患		和田 有子
8	小児リハビリテーション、小児救急・小児保健、腫瘍、血液疾患、腎・泌尿器疾患・生殖器疾患		和田 有子

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	標準小児科学 第8版 (Standard textbook)	内山聖 編	医学書院	2013年	8,800円+税	
参考書	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 小児科学	外間登美子	中外医学社	2005年	3,600円+税	
その他の資料	講義内で適宜配布					

## 評価方法

日常点（課題・確認テスト・態度）25%  
試験成績 75%

## 履修上の留意点

解剖学、生理学等の基礎が習得されているものとして講義を行うので、よく勉強しておくこと。毎回の課題に対して、講義プリント、教科書だけでは不十分なので、各自で参考書を調べるなどして学習することが必要となる。課題提出は締め切り厳守。また、確認テストが評価に大きく影響するので、課題を活用して復習を怠らないこと。

## オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。